

地域づくり計画「あさ夢プラン」

地域づくりスローガン		美しく　楽しく　人にやさしい　まち　厚狭　～ずっと住み続けたいまちに～					
部会 (分野)	テーマ	地域の現状（良さと課題）	既存の取組	今後考えられる取組	実現の 時期	めざす将来像	主な推進団体
自治	防犯 防災・減災 交通安全 通学路の見守り 生活道路 環境美化（河川清掃） 空き家対策	○治安がよい。 ○自然が豊か。景観がよい。 ○交通の便がよい。 ○日常の買い物に困らない。 ●水害が心配。災害への備え。 ●避難所の整備（冷暖房等） ●自治会や団体の役員のなり手が少ない ●空き家が増えている。 ●耕作放棄地の増加。草刈り。 ●生活道路などの整備。 ●街灯が少ない。	海岸清掃（５月） 河川清掃（７月） 防災フォーラム（７月） おもてなし大作戦（８月） 防災訓練（１０月） 人権教育研修会（２月）	・災害時の実効的な避難（支援）マニュアルを各自治会ごとに作成する。 ・「河川清掃」や「おもてなし大作戦」に若い世代の参加を促進する。 ・空き家を改装して子どもや高齢者が集える場所にする。（その研究） ・空き家や農地を無償提供し移住促進。（その研究） ・物見山公園（菖蒲園）の整備と活用。市と地区が担うべき役割を整理し、取組を検討する。	A	美しく安心・安全で快適に暮らせるまち	◎自治会協議会 ○防災士会 ○交通指導員
					A		
					C		
					C		
					B		
福祉	健康づくり 高齢者福祉 子育て支援	○人が優しい。人情に厚い。 ○ボランティア意識が高い。 ○独居在宅者等を支援する仕組みがある。 ●高齢化が進んでいる。 ●独り暮らしの高齢者の支援。（庭作業・電気器具の修理などの軽作業、ちょっとした相談） ●健康面に不安がある。 ●大きな病院がない。 ●買い物・通院などの移動手段に困る。 ●コミュニティバスやデマンド型交通が不便。	福祉教育活動支援（６月） 三者交流会（７月） 敬老会（９月） 勤労学生支援（１１月） 独居在宅者訪問活動（１２月） ふれあい会食会（２月） （チューリップの会）	・草刈り、除草等の有償ボランティアの実施。 ・高齢者の移動支援や買い物支援（移動販売）のあり方についての研究 ・児童クラブに入れない子どもたちの安全な居場所づくり（平日や長期休業中）の研究。	C	子どもから高齢者まで誰もが心豊かに暮らせる人にやさしいまち	◎社会福祉協議会 ○福祉員の会 ○第２層協議体 ○自治会協議会 ○民生児童委員協議会
					C		
					C		
交流	交流 まつり イベント スポーツ振興 歴史・文化 学校・園との連携	○歴史と（文化）伝統がある。 ○季節ごとにまつりがある。 ○地域内の人のつながり（が強い）。 ○あいさつを返す人が多い。 ○東京理科大学新学部開設の構想。 ●イベントへの協力者・参加者が少ない。（特に若い世代） ●文化の維持、継承が困難になりつつある。 ●駅周辺の賑わい。 ●世代間交流が少ない。 ●仲間と気軽に集まる場所がない。 ●子どもが遊べる公園・施設が少ない。 ●地域の特産物が少ない。	市民運動会（５月） 球技大会（６月・９月） 納涼祭（８月第１土曜日） センターまつり（１０月） カローリング大会（１１月） 初日を迎える会（１月） あいさつ運動（通年）	・「みんなでつくろう市民運動会」を開いて運動会を楽しくするアイデアを考える。 ・ＳＮＳを活用し各イベントの周知を徹底する。（その研究） ・厚狭の史跡を三世代（親子）で巡るウォークラリー（例）を創設する。 ・「厚狭ならばコレ」といった名産品の開発！ ・「ものみん」や「ねたろう」のキャラクタの活用。 ・小中高の共通スローガン「誰かのために何かのために」を活かしたイベント（クリーン作戦等）→小中高校生が企画 ・厚狭地区の観光マップの制作。	A	スポーツや伝統文化を通して様々な世代が交流する活力のあるまち	◎体育振興協議会 ○社会福祉協議会 ○自治会協議会 ○婦人会 ○老人クラブ連合会 ○利用者協議会 ○食生活改善推進協議会 ○小中学校PTA ○子ども会 ○交通指導員 ○青少年育成協議会 ○民生児童委員協議会 ○幼稚園・保育園・小中学校
					A		
					B		
					C		
					B		
					B		
					C		